

春日市指定管理者導入施設の業務実績評価【対象年度:令和5年度】

1 基本情報					2 施設情報(休館など)						
施設名		総合スポーツセンター及び西野球場									
指定管理者		春日まちづくりパートナーズ									
指定期間		令和2年4月1日から令和7年3月31日まで(5年間)									
担当所管		文化スポーツ課スポーツ担当									
3 利用者数											
指定期間		1年目		2年目		3年目		4年目		5年目	
年 度		2年度		3年度		前年度比		4年度		前年度比	
利用者数		合計		275,626人		284,553人		103.2%		421,018人	
施設内訳		総合スポーツセンター		260,909人		269,595人		103.3%		400,519人	
		西野球場		14,717人		14,958人		101.6%		20,499人	
4 履行確認項目への評価											
分類		履行確認項目		評価の視点		確認内容		評価		特記事項	
施設維持管理	清掃		適正に実施されているか		・日報 ・現地確認		○				
	設備保守点検		・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か		・実施実績の記録 ・事故の発生の有無 ・施設状況の把握		△		・バスケットボール移動用として令和6年2月より使用開始した床保護用プロテクションパネルについて、利用者への使用方法周知が徹底できておらず、サブアリーナ床板に、修繕には至らない程度の若干の打痕・凹みが生じた。		
	警備		・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか		・日報 ・現地確認		○				
	小規模修繕		・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か		・施設状況の把握内容 ・改修計画の有無		○				
運営業務	運営状況		・公共性・公平性を確保しているか ・事業計画等どおり実施しているか		・開館状況 ・各種事業の実施状況 ・利用許可の手法		○		・サブアリーナ等のワクチン集団接種会場終了に際して、市や市スポーツ協会と情報共有・連携しながら予約変更等の対応を行い、円滑に一般利用を再開した。 ・令和6年1月から行った体育館のバスケットボール利用の一部制限の際に、市と協力して利用団体等への説明を行うなどし、大きな混乱を起こすことなく施設運営した。		
	サービス水準の維持		・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか		・課題解決に向けた取組		○		・扇風機12台を体育館のアリーナ出入口等に設置し、夏季期間に常時稼働させることで、施設利用者の熱中症対策を図った。		
	利用状況の把握		適切な施設の利用状況か		・利用者数 ・施設稼働率		◎		・令和5年7月のサブアリーナ一般利用再開などもあり、コロナ禍以前を上回る過去最高の施設利用者数となった。		
状況理	収支決算状況		・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか		・帳票の管理 ・収支状況 ・予算と決算の比較		○		・令和4年度は光水熱費上昇などの影響により3,248千円の赤字収支であったが、施設利用料収入の増額や水光熱費の縮減により、令和5年度は4,036千円の黒字収支となった。		
運営体制	人員の適正な管理		・人員の適正な配置 ・継続的なレベルの維持に努めているか		・人員の配置状況・勤務体系 ・指導・研修体制 ・知識・経験を有する人の配備		○				
	利用者の苦情・要望等の対応体制		苦情等への対応は適切か		・苦情・要望への対応体制 ・報告書の作成状況		○		・利用者への対応は概ね良好であったが、温水プール施設内で発生した負傷事故で、負傷者への説明内容などの初期対応が十分でなかった事案があった。		
	危機管理体制の確保		事故・災害発生時の対応はできているか		・訓練等の実施実績 ・マニュアル等の作成		○				
	関係機関・地域との連携体制		連携を図るための組織・体制を整えているか		・定期的な情報交換等の開催実績		○				
その他	市民サービス向上のための自主的な取組		市民のニーズを捉えた取組の有無		・事案ごとの申請内容		○		【継続取組事項】 ・自主的な使用料値下げ(①夏季のアリーナ空調料金、②プール中学生料金、③トレーニング室高齢者料金)、④障がい者の介助者(市外者)料金) ・温水プールでの大谷小プール授業受入れ 【令和5年度新規取組事項】 ・熱中症対策のための体育館内への扇風機設置 【自主事業の実施】 ・バラスポーツ体験会 733名参加 ・施設無料開放(令和5年11月4日) 温水プール・トレーニング室・フィットネス計471名利用 ・屋外競技場無料開放・走り方教室(令和6年3月22日) 66名参加 【その他】 ・大相撲春日場所開催(令和5年12月8日) 1,931名来場		
5 加点項目への評価											
評価内容					特記事項						
(1)地域密着への取り組み (2)熱中症対策の関する取り組み					(1)地元雇用を積極的に推進し、地域人材の活躍の場を提供した(職員48人のうち38人(79.1%)が春日市民)。また、従来から実施していた小学校の施設見学対応、中学校への職場体験訪問、温水プールでの大谷小学校のプール授業受入れを引き続き実施し、教育活動への協力を非常に積極的に行った。 (2)夏季期間の熱中症対策として、従来から実施していた注意喚起アナウンスやポスター掲示、暑さ指数に基づく施設利用のキャンセル対応に加え、館内各所に計12台の扇風機を設置・常時稼働させる取り組みを実施した。						
6 総合評価											
評 価					コメント						
B+ 適正であり、概ね優れている。					・ワクチン集団接種会場終了によるサブアリーナ等の一般利用再開、令和6年1月からのバスケットボール利用の一部制限の際の施設運営変更に対応に臨機応変に対応し、適正かつ確実なサービスの提供が行われた。 ・令和5年11月末でワクチン集団接種会場としての使用が終了し、体育館のほぼ全施設の一般利用が再開したこともあり、昨年度から増加傾向であった施設全体の利用者数が、平成30年度を超え過去最高人数となった。 ・利用者等からの意見・要望に対して、市との協議の上、可能な限り施設運営の改善を行った。また、光熱費等の上昇に関わらず、これまで実施していた自主的な利用料の減額は継続しており、物価高騰の影響を利用者に転嫁せずサービス水準を維持したことは評価している。						